

「黒い穂」一斉に開花

静岡大の演習林 60年で初



南アルプスフィールドで一斉に咲いたスズタケの花
＝5月上旬(静岡大提供)

川根本町、ササの一種「スズタケ」



静岡大が演習林を展
開する南アルプスフ
ィールド(川根本町)
内にある約50畝のエ
リアで4月下旬、ササ
の一種「スズタケ」が
一斉開花したことが分
かった。ササの開花は
4～100年周期とも
いわれ、一斉開花はな
お貴重。同大が管理し
てきた60年間でも初め
ての現象という。一斉
開花の詳しい背景など
は不明とされる。

同大演習林チームが
今春、黒い稲穂のよう
な花を付けているのを
尾根から視認した。夏
を迎え、既に花は枯れ
て実がなり始めている
という。
開花と実りに力を費
やしたササ自体も年内

には枯れ、一帯が元の
状態に戻るまでに約10
年を要するとみられ
る。林の一面を覆つ「障
害物」がなくなるこの
期間が、日光が下まで
届いて稚樹が一気に成
長し、樹木の更新に結
びつく絶好の機会にな
る。

農学研究科の水永博
己教授は「ササの開花
を発端に、森の一大イ
ベントが始まる」と解
説する。

チームは今後、継続
的に稚樹の生育状況を
調査する。ニホンシカ
の食害も懸念されるた
め、防護柵を設けるな
どして被害の実態も調
べる。10月には現地で
一般向け公開講座を予
定している。

2015年7月24日 朝刊

①何が一斉に開花するのでしょうか。

[]

②一斉に開花した後、林はどうなりますか。

[]

③開花後、林にどんなメリットが考えられますか。

[]

年 組 名前